

---

# アニメ化希望

アフター

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

アニメ化希望

### 【Nコード】

N8765P

### 【作者名】

アフター

### 【あらすじ】

アニメ化を狙う部活メンバー、今日もだらだらアニメ化について話し合う。

「この小説をアニメ化にするためには、どうすればいいでしょう？」  
「はい！」

「はい、今年この学園に入ってきて右も左もわからない内に、我が部に入れられたツッコミ役の錦クン<sup>にしき</sup>」

「えらく説明的ですけど、まあいいです。部長の質問の意味がわかりません」

「えっ何が？」

「何がって、最初からですよ。何で急にアニメ化なんですか？まずこの小説が読まれるかもわかんないのに！」

「バカだな！ホントバカだな！いやバカを通り越してもうあれだな」「あれってなんですか！思いつかないなら言わないでくださいよ。つでなんでアニメ化なんですか？」

「それはですわね、錦クン お金になるからよ」

「そうだ我が学園でトップ3に入る美少女都クンの言うとおりだ！」<sup>みやこ</sup>

「また説明的ですけど、お金ってなんですかそれ、もっと夢とか目標とかじゃないんですか！」

「そうだなお金はちよつと汚いな言いなおそう夢のためだ。」<sup>おかね</sup>

「変わってねえよ！ルビがそのまんまでしょうが。それはあれですか宝クジを買っている人になんで買ったんですかって聞いているのと一緒にの意味ですか？」

「今のツッコミは、60点ですね」

「なんですか60点って都さん」

「いや70点はあるだろう」

「いえいえ甘やかしてはだめですよ。60点です。」

「そうだな今後の成長に期待して60点にしとくか」

「もついいですよ、話が進まないですから次に行きましょう」

「あら司会までこなすんですの。前言撤退ですわ70点をあげます。」

「あの都クンがほめるとはやるな錦クン。」

「わかりましたから先に進んでください。」

「そうだな、アニメ化にあたりなにをすればいいと思う。」

「そうですね、まずどんな路線で行くかですね。」

「錦クン、今はアニメ化の話をしているのよ電車の話ならよそでお願い。」

「そうだぞ、電車の話はまたの機会にしてやるから今はアニメ化について話をだな」

「その路線じゃないですよ！バトル系とかファンタジー系とかどういう話で行くかの路線ですよ。」

「バカ野郎！なんだそのツツコミはせつかくのパスをおそまつに扱いやがってお前の存在意味を1から叩き込んでやろうか。」

「まあまあ部長、錦クンはまだ1年ですのでそのぐらいで」

「まあ都クンがそこまでいうのなら許してやるか。」

「はあ、ありがとうございます」

「そうだな、バトル系が一番アニメにしやすいだろう。」

「まあ一番無難でしょうね。部長なにか案あるんですか？」

「もちろん、有るに決まっている。」

「どんなのですか？」

「まず、舞台は海だな！」

「はあ」

「主人公は海賊」

「？」

「それでなんとかのフルーツを食べて体がすごい伸びるようになる」

「口癖が「おれは海賊お」」

「はい、ストップ！」

「なんだよこつからが本番なのに」

「そりゃ止めますよ、それは日本で一番売れてるマンガでしょうが。」

「なんだと盗作か？」

「部長がね。」

「なんでだよ、昨日ジャンプを読んで閃いたんだぞ。」

「確信犯だよ！都さんもなにか言ってくさいよ。」

「そうですね、主人公は麦わら帽子をかぶっていて仲間の剣士が剣を3本持っているという設定なら被らないでしょう」

「おお、なるほど」

「だ〜から。1から10まで被っていますよ。訴えられてら100%負けますよ。」

「男には負けるとわかっていても行かねばならない勝負が有るんだ。」

「なんですか、急に中二病みたいなこと言いだして。」

「あら、男の子は何歳になっても中二病ですわ」

「否定しにくいですが、とにかく却下です。」

「なんだよ、自信作なのによお」

「他には無いんですか？」

「あるに決まってるんだろが！！」

「なんでキレ気味なんですが、っでどんな内容ですか？」

「舞台は中国つばい処」

「つばい？」

「主人公は拳法少年」

「？」

「ある仙人の所で修業するんだ」

「…」

「んで必殺技は「かめは」」

「はい、ストップ。今度はゲームでもしていて閃いたんですか？」

「ちげ〜よ。アニメだよ。」

「もっとダメでしょうか！」

「パワーアップしたら、髪が金髪になって逆立つようにしたらどう

でしょう。」

「あんたら、わかってて言ってるでしょう!」

「知っていても知らないふりをするやさしさも必要なんだよ。」

「急にハードボイルドな事言われてもどうしようもないですよ。」

「私は好きですわよ、銃が似合いそうですから。」

「とにかく、それも却下です。」

「却下却下言いやがって、お前はなにか案があるのかよ。」

「別に無いですよ。」

「てめえ、アニメ化になりたくないのかよ!」

「錦クン、あなたそれは本心なの?」

「本心もなにもピンと来ませんし、アニメ化よりまずマンガ化が先じゃないんですか?」

「バツ力野郎!! 正論言ってんじゃないやねえ」

「認めちゃったよ。」

「もういい、お前にはツツコミ以外は期待せんからな!」

「なんですかそれ、もともとなにを期待してたんですか。」

「都クンはなにか案はないか?」

「そうですね、学園ものにしたらどうでしょう。」

「たしかに、いまの舞台は学園ですからね。」

「でも、学園ってもうネタなんか出しつくされているんじゃないか?」

「そうですね、斬新な内容じゃないとアニメ化されませんしね。」

「主人公は腐りかけのゾンビ」

「つえ、もうキャラ設定が始まってます?あと腐りかけのゾンビって見た目がアウトですって。」

「でも斬新でしょ。」

「確かに斬新ですけど、絶対アニメ化しませんよ。」

「学園は冷暖房完備のスポーツ学園」

「まだ続くんですか?確かに冷暖房完備はいいですけどスポーツってゾンビがスポーツするんですか。」

「主人公はテニス部の新人」  
「テニス部ってボールを打ったびに腕が落ちちゃうでしょ。」  
「そこでヒロインのフランケンちゃんが「ホラーみたことか」って言うの」  
「うまくねえし、ヒロインがフランケンってだれが見たいんですか」  
「錦クンこの世にはスキマ産業というのが有るんだよ。」  
「スキマすぎるでしょうが。蟻が通るスキマもないですよ。」  
「なら、ミジンコやミドリムシなら通れますわね。」  
「だからなんですか。結局はだれも見ないでしょう。」  
「まあ案は良かったな。」  
「どこがですか。」  
「とりあえず学園ネタで行くか。」  
「じゃあ、舞台はミッシヨン系の学園というのどうでしょう。」  
「いいんじゃないですか。」  
「主人公はCIA最年少の少年」  
「あるようで無いかもしれない設定ですね」  
「でもいつも失敗するため他の人の信用が無い。」  
「信用が無いってCIAってばれてんですか？」  
「ばれてるってどういう意味ですか？」  
「だってCIAって秘密じゃないんですか？」  
「秘密もなにもそういう学園ですもの。」  
「?? もしかして都さんミッシヨンの意味を知っていますか？」  
「失礼ですわね。知っていますわ。どこの要塞に段ボールを持って潜入する学園の事でしょ。」  
「どこのメタルギアですか。違いますキリスト教に関係している学園ですよ。」  
「あら、そうでしたの。」  
「いや、都クンの案は悪くないな。」  
「部長までなにを言ってるんですか。案は良かったですが間違ってますよ。」

「その間違いをアニメ化するんだよ」

「確かにアニメ化したら、ミッション系という意味を書き換えられますわね、これが本当に「嘘から出た真」ですわね。」

「いやたとえアニメ化したとしても「嘘から出た嘘」ですから。」

「よし、我が部はミッション系の学園アニメを目指す。なにか問題は無いか。」

「あのー、うちの近所に要塞なんか無いんですけど。」

「ふん、もう時間か。今日はここまでだな。」

「いや、ごまかし切れてませんから。」

「明日はキャラ設定について話し合うからな！」

「まあ、楽しみですわ。」

「いや、もう決まっているでしょ。ボケ役2人」

「それじゃ、解散」

終わり



（後書き）

初めて書きました。なにぶん素人なので読みにくいと思いますがどうかよろしくお願いします。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8765p/>

---

アニメ化希望

2011年1月2日01時10分発行